

平成 27 年 9 月 24 日 (木)

13 時 30 分～15 時

報告者 小川智江

<進行>健康医療課長

1. 開会

健康づくり推進協議会は原則公開で開催。本日傍聴希望者はなし。

欠席者

- ・一般社団法人恵那医師会恵北医会 会長 丹羽 一善氏

出席は過半数で協議会の要綱により会は成立。

2. 中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）あいさつ

連休明けでなにかとお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ちょうど一年前の昨年の 9 月に第二次の健康づくり推進協議会の方向性が決まりまして今日はこの一年間の進捗状況のご説明をいただきまして皆さんにご意見をお出しいただきます。このリーフレットにもございますが、健康寿命を延ばすということが今求められていることとございまして、この地域では糖尿病の割合が多いんですね。全国でも糖尿病に必要な医療費が非常に膨らんでおりまして、だいたい年間 1 兆 3 千億円の医療費がこの糖尿病だけでかかっている。もちろんこの糖尿病だけが対象になるわけではございませんがやはり日ごろの食生活、それから運動すること、タバコは吸わない、お酒は適度にする、こういったことが医療費を節減することだし、国の予算、あるいは市の財政にひじょうにプラスになって働く。そういったことでこの健康づくり推進協議会が開かれるわけですが、昨年、このキャッチコピーとイメージキャラクターが決まりました。こういうものが決まればことがすんなりという簡単なものではございませんのでなるべく、この協議会で話し合っているようなことを市民の方々により深く浸透させていく、そして市職員がこういった気持ちを持って行動していくということがいろんな意味で大事になっていくと思います。今日は 1 時間半という短い時間ですがいろいろなお意見を伺って、この一年間のこの取り組みに役立つようにいろいろなお意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

3. 健康福祉部長あいさつ

みなさんこんにちは。健康福祉部長の早川でございます。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃は保健福祉行政にご理解とご協力いただきまして厚くお礼申し上げます。今ほども会長さんからお話がございましたけれども、昨年度この協議会で「健康づくり」にこれから力をいれていくと、皆様にもご支援いただきまして、今お手元にあるかと思いますが中津川市の 8 万人のヘルスアップ事業ということで、1 月に健康づくり推進条例を施行しまして 2 月には健康都市中津川宣言というものをしております。これも皆様にご意見をいただきまして、キャラクター等決めていただきまして進めておるわけではございますけれども、宣言、条例ができたから健康になるというわけではございませんので具体的な施策について今まで取り組んできたことを今日ご報告させていただきましても、新たな取り組みにつきまして、是非、委員さんの方からご意見を賜りたいと思っておりますのでどうぞよろしくをお願いいたします。本日はよろしくをお願いします。

4. 資料確認

5. 議事

議長：中川会長

1) 「健康なかつがわ21（第二次）」計画の進捗状況（資料1） 報告者：健康医療課 和田
各分野の項目別に左から策定時の数値、現状値、目標値、平成27年度の主な取り組みを表示。

<計画策定時より改善項目>

- ・がん検診の受診率の向上（女性大腸がん検診）
- ・高血圧の割合の減少（男女）
- ・脂質異常症の減少（男女）
- ・特定健康診査実施率
- ・特定保健指導の終了率
- ・糖尿病有病者の増加の抑制
- ・糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少
- ・20歳代女性のやせの人の割合の減少
- ・肥満傾向にある子どもの割合の減少（小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合）
- ・30～60歳代男性の肥満者の割合の減少
- ・朝食欠食者の減少（3歳児、5歳児、中学生）
- ・朝食共食者の増加（5歳児、小学生）
- ・運動習慣者の割合の増加（30～64歳女性）
- ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少（男性）
- ・妊娠中の飲酒をなくす
- ・成人の喫煙率低下
- ・妊娠中の喫煙をなくす
- ・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加
- ・60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少
- ・12歳児の一人平均むし歯数の減少
- ・自殺者数の減少

<質疑応答及びご意見>

【質問1】中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）

地域で広める高血圧予防は坂下30自治区で行われているということですが、他の地区ではほとんどないんですか。

【回答1】健康医療課 矢頭

今年につきましては坂下で実施。順番にターゲットを絞ってやっっていこうと検討しました。特定健診の結果からⅡ度以上の高血圧者割合が高かった坂下地区を対象としましたが、来年度以降は地区を選定してやっっていこうと考えています。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

これはもともと坂下地区で自主的に実施していたものではないということですね。

【健康医療課 矢頭】

8万人のヘルスアップ事業の1つとして行っております。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

市民とのいろいろな連携と最後にご説明がありましたが、健康推進委員会の丸山さん、あるいは食生活改善推進員協議会の林さんから何かご意見ございますか。

【丸山委員】（健康推進委員 会長）

まずは自分の住んでいる地域から取り組んでいこうということですが、まだ1年目でどんなふうにしたらいいかわかりませんが来年に向けて民生委員、福祉委員、健康推進員で協議をしようかという段取りだけです。来年に向けてまずは地域でなにか啓発しようかなと考えています。

【林委員】（食生活改善推進員協議会 副会長）

今後についてはまだはっきり決めていないが、会長がやってきたことを受け継いでやっていきたいなと考えています。

【質問2】中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）

数は少ないんですが、自殺する方の年齢別比率というか、これは高齢者が多いんですか。あるいは中高年の方が多いんですか。それによって取り組み方がだいぶ変わってくると思うんですね。

【回答2】健康医療課 佐藤

平成26年度版 中津川市の保健の14ページに自殺の総数があります。70～74歳の方が3名ということなんですが、全体で見ると男性の方が女性より多いということはわかるんですが、特に高齢者で多いということはないです。

【質問3】丸山委員（中津川市体育協会 会長）

人口10万人当たりの自殺者数の減少とあるが、中津川市では人口10万人いないのに何人減少とするのか。減少という目標はわかるが。

【回答3】健康医療課 和田

自殺に関しては基本的には減少というかたちで0に近づけることはもちろんだと思います。人口10万人当たりというのは国との比較の意味もありましてこのような目標数値になっていますが、中津川市の実数としては0が目標。減少していくということであげています。

【質問4】伊藤委員（中津川歯科医師会 会長）

介護保険サービス利用者の増加の抑制とありますが、この数値の見方がわからない。

【回答 4】健康医療課 和田

実人数で表しています。高齢者がどんどん増加していることから目標年度として 37 年度の高齢者数の見込み数からいけば、率としては抑制された数なんですが、実数としては増えてしまうという形になります。

【ご意見 1】伊藤委員（中津川歯科医師会 会長）

高齢者の総数を母数にして割合でださないと一般の人にはわからない。

【ご意見 2】中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）

率で表示した方がわかりやすいですね。

2) 中津川市の健康課題について（資料 2） 報告者；健康医療課 矢頭

・医療の状況

平成 25 年度中津川市国民健康保険の医療費の状況を見ると、入院件数は全体のわずか 2.5%だが、費用額では全体の 35.7%を占めている。重症化を予防し、入院を減らすことが医療費抑制につながると考えられる。

・介護の状況

要介護認定者のうち 65 歳未満の人の有病状況をみると、脳卒中治療者は 51.6%と半数を超えている。基礎疾患は高血圧症 72.6%、脂質異常症 41.9%、糖尿病 29%であった。これは長年の生活習慣が脳血管の動脈硬化を進め、脳卒中を発症していると推測できる。若い年代から生活習慣病の発症、重症化予防をすることが介護予防につながると考えられる。

・特定健診の状況

平成 25 年度中津川市特定健康診査受診率は 35.9%で全国と同規模市 252 市中 130 位という結果であった。しかしながら中津川市の特定保健指導実施率は 62.4%と同規模市平均を大きく上回っている。メタボ該当者・メタボ予備軍は減少し、血圧、脂質、血糖においても重症化の対象者は減少し、成果が出てきている。

・参考資料 2 枚（市全体の健康データの参考として）

産業保健センターからのデータによると I 度高血圧以上の割合は約 20%で同じような状況であった。他の項目についても重症化の対象者の割合をみても同じような状況がうかがえた。労働基準監督署からいただいたデータについては所見の有無の状況しかわからない状況だったが、脂質や血圧の有所見者の割合が多いことがわかった。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

ただいま医療と介護の状況についてご説明いただいたところですが、何かご質問ありますでしょうか？

【質問 5】丸山委員（中津川市体育協会 会長）

参考資料の恵那労働基準監督署からのデータですが、労働者数 26%というのは少ないのではないかと。ほとんどの企業で健診はやっているはずだから。全ての労働者の数ではないのか？

【回答 5】健康医療課 佐藤

恵那中津では労働者数が 47,832 人いるのですが、労働基準監督署に報告義務があるのが労働者数 50 人以上となっているので、恵那労働基準監督署が把握している受診者が 12,427 人で 26%の人しか把握していない状況ということです。

【質問 6】中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）

同じ年代で国民健康保険に加入している方と社会保険に加入している方とだいぶ違いがありますか？有病率とか。

【回答 6】健康医療課 矢頭

今回中津川市のほうが年齢別で分けていないので（わかりにくいですが）、性別では男性の方が女性より有病率が高い状況にあるのは似ているところがあると思っています。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

国保の方のほうが少し高めだということですか？

【健康医療課 矢頭】

産業保健センターさんのデータは若い方が受けているが国民健康保険加入の方で特定健診を受けている方は若い年齢の受診率がかなり低いので、異常割合の比較はこのデータではしていませんが、性別でみたときに男性の方が異常割合が高い状況であったり、全体を比較したときに血圧、脂質が一番異常割合が高いと言う状況は同じ傾向がでていると思います。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

はい。他にはよろしいでしょうか。

【質問 7】加藤副会長（中津川市社会福祉協議会 会長）

介護の状況より。若い年代から生活習慣病の発症、重症化を予防することが介護予防につながるとあるが、65 歳未満の若年認知症を市でも取り組まれているのでしょうか。数も把握していれば教えて欲しい。今後の取り組みをどうするのか。国は専門支援員を配置するといっている。それぞれ対応して策をとっていかなければいけないと思いますので。考え方を教えてほしい。

【回答 7】健康医療課 矢頭

高齢支援課でまとめているデータによりますと、平成 26 年 4 月 1 日現在の介護保険認定者のうち認知症の方は 2635 人。64 歳以下の方は 54 人というデータが出ております。年々認知症による見守りが必要な方が増えています。健康医療課としてはやはり脳血管疾患からくる認知症というところでその予防ができるという視点で、健診を受けて脳血管を守ると言う視点でやっていかなければ

ならないと思っておりますので、若いうちから健診を受けていただく。他の機関と連携をしながら重症化を予防していくというところに重点を置いていきたいと考えています。

【中川会長】(恵那医師会 中津川医会 会長)

血管性の認知症はともかく、アルツハイマー型認知症はある程度治療の効果がでますのでね。いかに早期に発見するかってことなんですね。どうやって早く見つけるかということですが、同居しているご家族の啓蒙だとか、近所の方がおかしいと言うのも問題になるケースもあるかとも思いますので。他にはないでしょうか。先に進めさせていただいて、資料3の説明をお願いします。

3) 8万人のヘルスアップ事業の推進について(資料3) 報告者; 健康医療課 和田

- ・血圧を下げる! 出前講座
- ・「減塩ヘルシーメニュー」の普及
- ・子どものころからの健康教育
- ・運動習慣の獲得
- ・地域の健康づくりリーダー育成
- ・健康情報発信
- ・その他

こういった活動を通じまして生活習慣改善・運動機能向上・社会参加と社会貢献の増進→健康長寿・社会環境の向上・医療費削減→かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる中津川をめざしていきます。

【中川会長】(恵那医師会 中津川医会 会長)

はい。ただいま実際に取り組んでいる事業について内容をご説明していただきましたが、これについて何かご質問ありますでしょうか。

【三宅委員】(恵那保健所健康増進課 課長)

今回はヘルスアップ事業ということで、新たな事業で塩分を減らす活動をされているということでよくわかりました。岐阜県では「岐阜と食の健康応援店」を普及しているところですがご協力ありがとうございました。参考までに「岐阜と食の健康応援店」につきましても3つのランクありまして、星が1つ、星が2つ、星が3つとあります。星1つが健康食の普及啓発、星2つはその店のカロリー表示をする、星3つはその食事を塩分3g以下におさえると星3つになつということです。星3つになると県下で十数店しかなくて、中津川市では道の駅加子母が唯一のお店となっています。機会がありましたら、星3つの店を増やしていくように啓発していただけたらと思います。

【中川会長】店先になにか張るようなものがあるんですか?

【三宅委員】応援店という張り紙をするんですがそこに星がついています。

【中川会長】それでお客さんが増えるといいですね。

【三宅委員】あんまり星3つが（塩分）3g以下の食事ができるってことを皆さん知らないようで、普及啓発に協力していただきたいと思っています。

【中川会長】他には？

【質問8】加藤副会長

地域職域での出前講座とありますが、是非、働き盛りの若い人たちに前講座を続けてお願いしたいのですが、出前講座のスタッフはどういった方が行っているのか、今年は何社くらいの企業に出前講座の予定をしているのか、対象は何人以上の事業所なのかとか基準を設けているのでしょうか。

【回答8】健康医療課 和田

まず、行っている者は職員になりますので、保健師、栄養士。運動を希望される場合はトレーナーの先生をお願いしています。内容によりましては看護師だったり歯科衛生士だったりまずは職員が中心に出前講座に出させていただきます。何社くらいということですが、まず希望をしていただいたところうかがわせていただくことになるので、申請をしていただくといいかたちになります。職域には出前講座に行く機会がなかなか無く、是非伺いたいなと思っています。あっても年に1社か2社までしか今まで行ったことがないのでもう少し増やしていきたいなと思っています。規模としましては大きな会社ですと、例えば三菱さんとかだと中できちんと健康教育などをされていますので逆にそういったことが少ないような中小企業さんを中心うかがえたらと考えています。またそういった機会がありましたら是非教えて欲しいと思いますのでよろしくお願い致します。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

他にはいかがですか。

【質問9】神谷委員（中津川市国民健康保険運営協議会 代表）

高齢者の方の健康を維持していこうということでコグニ体操とか出前講座をお願いしてやっているところがあると思うんですけど、例えば落合のゆうらく苑で「よってこまいか」というのを支援センターでやっているんですがその中でコグニ体操ってのがあって高齢者が健康でやっつけられるように楽しくそこへ歩いていけるようにということで地域で募集しているんですが、高齢支援課でもないですし、健康医療課でもそれに対する宣伝があるとわかりやすいんじゃないかと思っています。コグニ体操って何かわかっていないことがあって、それから説明をしないとできないってこともあるし、それに対してのちょっとしたパンフレットがあってこういうもんだよってPRしてもらえたらもっと入りやすいんじゃないかなとすごく感じました。

【回答9】健康医療課 和田

コグニ体操…コグニサイズというもので、2つのことを同時にすることで認知症が下がっていくということで歩きながらしりとりをするといういろいろな方式はあるようですが高齢支援課でコグニサイズは積極的に活用していきたいと考えてると聞いています。舞台峠のうまいもん祭りの時にはコグニサイズを行います。PRが足りないと言うご指摘でしたので積極的にPRして皆さんに知って

いただき是非、若いうちから取り組むことで認知症予防になるといわれていますので広めていきたいと思います。

【質問 10】 渡邊委員（中津川市社会教育委員の会 会長）

健康推進員さんの活動ですけど民生委員の人や福祉協力員の人とこれから取組をしていこうと言ってみえたんですけど、代表的に地域で民生委員さんが中心になってやっている事例があるのかなのか。健康推進員さんのいる集落単位で出前講座なんかをもっと積極的に健康推進員さんが中心になってやってもらうような呼びかけというか、そういうことはないのでしょうかね。

【丸山委員】（中津川市健康推進員会 会長）

健康推進員の方で手賀野の地域が毎月出前講座をお願いして健康推進員の方が中心にやってみえるんですけど。私も今年初めて会長になり、どういうものかわからないですけど、手賀野の老人会の会長さんがその様なことを言っていました。介護のほうの地域の集まりです。

【回答 10】 健康医療課 和田

手賀野の地域は元々区長さんたちが中心になって健康相談というのをずーと長年やってきてそこに推進員さんが毎月お手伝いに行つてという形でやってみると聞いてます。地区ごとに出前講座とか希望があれば推進員さんで段取りを取つていただいたりするとまた地域に入つていけたりするのかなと思いますが、なかなか実際にはそこまで自分のところに来てもらうには推進員さんの負担も大きいというのが現状でそんなには普及はしていません。やはり一人では動きにくいというような声をととても多くの方から聞くので是非、民生委員さんとか福祉委員さんと協力をしながらやっていきたいということで、今年またいろんなところをお願いをしているという状況です。現実にはまだ動いているわけではないので協力しながら進めていきたいです。

【質問 11】 中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）

水中運動教室というのは今は福岡だけです。

【回答 11】 健康医療課 和田

市でやっているものは福岡だけです。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

神坂のクワリゾートなんかを活用するという考えは全くないんですか。

【健康医療課 和田】

昨年度 3 回だけだったんですけどもクワリゾートでもさせていただきました。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

3 回だけじゃなくて年間を通して。コパンなんかはすごく賑わっていますよね。

【健康医療課 和田】

今年もやろうかなと思っていたところで、システムがどうなるかというところで動いていないんですが。

【中川会長】(恵那医師会 中津川医会 会長)

行政管理課なんか処分しようとしているようでね、中津川市の健康推進と逆行しているように思うんですね。

時間が参りましたので最後にお一言ずつご意見を伺って閉めにしましょう。

【伊藤委員】(中津川歯科医師会 会長)

本年から参加させていただきました。初めてだったのでわからないこともあって質問させていただきましたが、先ほど部長さんが条例を作ったから市民が健康になるわけではないとお話をされましたが、歯と口腔の健康づくり条例を早くに制定させていただきたいと思いますので皆様のご協力をお願いしたいと思います。

【曾我委員】(中津川市薬剤師会 会長)

薬剤師会の曾我です。最後に一言申し上げたいと思います。8万人のヘルスアップ事業のキャラクターを選んだ一人としてもしっかり進めていきたいなと思ひまして、市が行う事業に対して協力的でありたいなと思っております。出前講座を9月に受けさせていただいたというか、たまたま参加したので感想をせっかくなので述べさせていただきたいなと思うんですけども、非常に好印象の方が来られてまして、研修の雰囲気としてはすごくよかったかなと思います。言ってる内容もわかりやすく丁寧に説明していただきました。防災訓練の日に集まりましたので、地区の公民館に30人から40人集まったご老人達の前での説明だったんですけども、そのときに事前アナウンスがなかったのが突然市の方がきてその話をされたという雰囲気だったので、出前講座を受けるとか、講習を受けるといふ雰囲気ではなかった。突然なぜ話をされにきたのかなという感じだった。地域の上の方達にご存知だったと思うんですけど一般の方達には何が始まったかなという印象だったかなということと、非常に丁寧な説明だったんですか、市の方は強く言うわけにはいかないのが、低姿勢で話をされるので、最終的には減塩、高齢の方達には高血圧の方が多い。減塩を含めて食事を、ヘルシーメニューを食べて運動していきましょうというのがあまり最後伝わりにくかったかなと。あまり上から目線で言われると、急に来てあんななんだという雰囲気になるでしょうし。急に来て大変申し訳ないんですけどという雰囲気でお話をされたので雰囲気はよかったんですけど。その話がこの講座につながってそういう意識が高まったかなというところはまだ少し少ないかなと思うので。難しいところなんですけどね。繰り返すということを含めて参考にしながら是非進めていっていただければと思います。雰囲気としては素晴らしいものでした。少し感想でしたけれどもよろしくお願ひします。

【林委員】(中津川市食生活改善推進員協議会 副会長)

食改の林といいます。よろしくお願ひします。私たちは健康医療課の栄養士さんのアドバイスを受けながら塩分控えめな料理をつくるとか糖分を少なくしたおやつを作るという事業をやっております。健康福祉まつりでも味噌汁の塩分濃度を測ったりして。健康医療課の栄養士さんのアドバイスを受けながらいろいろな事業をやっていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

【丸山委員】(中津川市健康推進委員会 会長)

健康推進員の支部長会議などでまず支部長が研修を受けまして、それを地域へもって行ってやっていただくという形で進めていきたいなと今年は思っております、それを皆さんに協力していただいてやっていこうかなと思っております。よろしくお願いします。

【渡邊委員】(中津川市社会教育委員の会 会長)

私は社会教育委員の会の代表でここに座っておるんですけども、8万人のヘルスアップ事業ということで運動習慣の獲得、特に地域を巻き込んだ、例えば公民館だったり生涯学習スポーツ課、あのへんを巻き込んだ軽スポーツだとかウォーキング大会とか、福祉サイド、健康医療課サイドばかりじゃなくてですね、そういうところも大きく巻き込んで地域の住民を巻き込んだような運動を進めていってもらって少しでも多くの住民の人が参加してもらえるようになるんじゃないかなと思っております。以上です。

【鷹見委員】(中津川商工会議所 事務局長)

先ほど8万人のヘルスアップ事業の推進のところ、1点聞こうかなと思っていたところがありまして、出前講座の一番下のところに商工会議所で健診の結果説明会を行ったけれども、どうも人がこなかったというお話でしたが、どういったアナウンスをされたのかということと、アナウンスについては会議所ではいくらかでも協力するのでどんどん言っていただければと思います。もう1点、職域の出前講座の関係でなかなか職域で受け入れていただけないというお話がありましたけれどもたとえば毎年4月かな。新入社員の激励会ってのが工業振興課が主体でやっていますけれどもそういった場所で少し時間をもらってとってもらって、若い人がたくさん来ていますのでそこで健康のお話をするとか。それから商工会議所でも新社員研修講座とかそのほかいろんな研修会やっていますんで、そこでも時間がとれる研修会もあると思いますのでご希望を言っていただければ時間をとることはできるかなと思いますのでよろしくお願いします。

【神谷委員】(中津川市国民健康保険運営協議会 代表)

私、国民健康保険の運営協議会から参加させていただいておりますが、国民健康保険の保険料も上がっているんですけど、医療費もすごく上がってきているなと感じますので、そういうことも含めて本当に健康増進のことに力を入れていただきたいなと感じております。よろしくお願いします。

【三宅委員】(恵那保健所健康増進課 課長)

私、恵那市民ですけどこの会議で新しいと思ったのが健康推進員っていう方がいらっしゃるということで、恵那にはそういう仕組みはないです。中津だけの独自の仕組みで、いい仕組みが残っているなと思いました。また、健診の受診率の方針につきまして、今後とも地道に上がる仕組みを市の方で検討いただけたらなと思います。30数パーセントということで1/3の方しかやっていないんですけど、皆さん100%と思われる健保でさえ、65%かそのくらいの数字でありまして、また公務員が入っている共済組合でさえも70数パーセントということで、実際は100%ではないっていう話なんですけれども、もっとそういうところをアップしていければ横もつながっていくのかなと思っております。

【丸山委員】（中津川市体育協会 会長）

体育協会の丸山です。体育協会では8万人のヘルスアップ事業に少しでも貢献しようということで、昨年4月から運動公園一帯を子どもが管理することになりました。1つの例として年末年始、去年今年の例でいきますと、去年ですと今までは12月に27日土曜日から今年の1月4日まで9日間あそこの施設いったいが閉館されておりました。私の方はそれじゃあいかんと。少しでも利用してみんなが健康になってくれればいいということで、すべて常勤の職員が指導してテニスをやったり、歩いたりいろんなことができるようにして8万人のヘルスアップに協力しようということでやっております。祭日の翌月曜日、休日ございますね。平成26年3月までは閉館しておりましたけれどこれを開いて高齢者の方でもいろんな人が健康づくりにつかっただければということを行っております。いろんなことを体育指導員を利用してやっております。ヘルスアップ事業の中の健康づくり取組隊11団体の中に中津川センターロータリークラブが入っております、お医者さんがロータリークラブの会長をやった方で、東濃地域でいきますと多治見市瑞浪市で高齢者に向けた健康づくりについて講演会なんかをやっております。また皆様方にご案内をさせていただきますのでご参加をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

【加藤副会長】（中津川市社会福祉協議会 会長）

健康づくりの3要素は運動・栄養・休養だと聞いておまして、それをそれぞれ進めて。一番の課題と考えているのは「地域」ですね。地域でそれぞれ自分の健康は自分でつくるという意識改革をしないとなかなか前に進まないんじゃないかと。ここに先ほどもそんなようなことが書いてありましたけれども、意識改革に向けてそれなりの地域リーダーを養成していくことが大事なんじゃないかと思います。中津川市も健康都市宣言をしたわけですがけれども、企業、市民一人一人が健康でありたいと願っておりますので、個人ももちろん努力はしますけれどもリーダーの育成ですね、食生活改善推進員、ここにも養成をするんだと。あるいは健康推進員活動の見直しだと思います。確かに地域には健康推進員がおられますけれども、私の目からするとどういう活動をされておるかなと。しいて言えばイベントで例えば健康福祉まつりにでてきて活動するという程度でしかみておりませんので、もう少し健康推進員という位置づけをしっかりと地域の中にもそれをしっかりと根付かせて地域と一緒に活動していけるような、そんな方向にもっていただけるといいかな。食生活改善推進員につきましてもですね、木曽の方では食生活改推進協議会っていうのがありまして、今は解散してないと思いますけれども、もし無かったらそういう方々もおられますので、是非そういう会を立ち上げていただくとか。そんなことをしながら栄養改善も大事な問題だと思います。地域のそうしたそれぞれのリーダーの育成に力をいれていくと、健康都市中津川宣言につながっていくんじゃないかなと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

はい。今日はいろいろな貴重なご意見いただきましてありがとうございました。この健康づくりは高齢者の方はもちろんでございますが、やはり20代30代40代くらいの若い方が特に大事なことだと思います。今商工会議所の鷹見さんからお話がありましたように市役所の中だけで留まっていなくてどんどん外へ出て、外のいろいろな組織と連携してこの運動を繰り広げていくことが大きな力を持つことで非常に大事なんじゃないかと思います。50人以上のJAのような企業には衛生管理

者が1人ずついるんですね。ですからそういった人達に例えば減塩を勧めるとか、そういうところからどんどん輪を大きくして行ってこの事業を実りのあるものにしていただけたらと思います。今日はどうも大変ありがとうございました。

【加藤副会長】（中津川市社会福祉協議会 会長）

それでは閉会の言葉といたしますけれども、今日は大変ご多忙のところ健康づくり推進につきましてご協議いただき大変ご苦勞様でした。健康づくりの推進につきましてははですね、本当に多くの課題があります。先ほどの行政からの報告にもございましたけれどもまだまだ、市民の中ではそういう意識までは届いてないという報告がございましたが、私は、先ほども言いましたけれども、健康宣言をした以上ですね、本当に市民全体で健康づくりのチームを作っていくいいチャンスだと思いますので、是非皆さんも一緒になってこれからも健康推進のためにご理解とご協力いただければと思います。今日は本当に貴重な時間をいただきましてありがとうございました。